

2025年2月16日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第67巻第47号(通算3429号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072
大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10
TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

小さくされている人を
大切に**する**教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人が
みな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

こうたんせつ
降誕節

だい しゅじつれいはい
第8主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜんそう もくとう
前奏(黙祷)

ちよさくけんしょうめつ
AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば
招きの詞

いざや書

しやう せつ
30章 19節

さんびか
賛美歌

21-206番「七日の旅路」(©教団讚美歌委員会)

せいしよ
聖書

またいによる福音書

しやう せつ
5章 1-12節

いの
お祈り

さんびか
賛美歌

21-57番「ガリラヤの風かおる丘で」(©JASRAC)

メッセージ「心の貧しい人とは」

みずたに けん ぼくし
水谷 憲 牧師

さんびか
賛美歌

21-578番「平和を求めよう」(©著作権消滅)

しゅいの
主の祈り

21-62番「天にいます わたしたちの父」(©讚美歌改訂委員会)

ささげもの
献げ物(*)

はけん
派遣

21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅくふく
祝福

みずたに けん ぼくし
水谷 憲 牧師

こうそう
後奏

アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

ほうこく
報告

(4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*「献げ物(献金)」は、受付にある献金箱にお献げください。

招きの詞 イザヤ書^{しよ} 30章 19節^{せつ} (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

シオンの民、エルサレムに^a住む者よ

あなたはもはや泣くことはない。

主はあなたの叫び声に応じて

必ずあなたに恵みを与えてくださる。

主がそれを聞かれると

直ちにあなたに答えられる。 (脚注 a：ヘブライ語原典では「彼は住む」)

聖書 マタイによる福音書^{ふくいんしよ} 5章 1-12節^{せつ} (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹ イエスはこの群衆を見て、山に登られた。腰を下ろされると、弟子たちが御もとに^み来た。²そこで、イエスは口を開き、彼らに教えられた。

³ 「^b心の貧しい人々は、幸いである (脚注 b：直訳「霊において貧しい人々」)

天の国はその人たちのものである。

⁴ 悲しむ人々は、幸いである

その人たちは慰められる。

^{5c} へりくだった人々は、幸いである (脚注 c：別訳「柔和な」)

その人たちは地を受け継ぐ。

⁶ 義に飢え渴く人々は、幸いである

その人たちは満たされる。

⁷ 憐れみ深い人々は、幸いである

その人たちは憐れみを受ける。

⁸ 心の清い人々は、幸いである

その人たちは神を見る。

⁹ 平和を造る人々は、幸いである

その人たちは神の子と呼ばれる。

¹⁰ 義のために迫害された人々は、幸いである

天の国はその人たちのものである。

¹¹ 私のために、人々があなたがたを^{ののし}罵り、迫害し、ありもしないことで悪口を浴びせるとき、あなたがたは幸いである。¹² 喜びなさい。大いに喜びなさい。天には大きな報いがある。あなたがたより前の預言者たちも、同じように迫害されたのである。」

《先週のメッセージより》2025年2月2日労伝デイ講壇交換礼拝

「神の約束とは美しい調和である」

永富美加牧師

聖書 マタイによる福音書 20章 1-15節

今日のたとえ話は、時のパレスチナのある時期によく起こったことを背景としています。パレスチナでは、ブドウが熟すのは9月で、すぐに雨期がやって来ます。雨期がやってくる前に、急いでぶどうを取り入れないと、ブドウが腐ってしまいます。そこで一刻を争う収穫期には大勢の人手が必要とされ、時には一日1時間しか働けない人でも大歓迎されたそうです。賃金は1デナリオン（平均的な一日の労働代金に相当）。現代に換算すれば、1万円ほどです。

今日の個所3節、6節で「なにもしないで広場に立っている」という表現があります。パレスチナでは、市場が労働市場になっていた。働きたいという人は、朝、道具をもって集まり、誰かが雇ってくれるのを待つのです。仕事を待っていても、声がかからなければ、ずっとその場に居続けなければならない。そのために、5時まで待っていた人もいたのです。現代版の労働市場の典型として、1990年代ごろから急激に増えだした非正規の働き手の方々がおられます。1990年代から日本の労働市場は大きく変化を遂げ、政府は規制緩和により、「労働者派遣法」を改正しました。特に新型コロナウイルス感染症が拡大した2020年では、「派遣切り」が横行しました。仕事をしたくても、ある日、突然、解雇を言い渡される。「誰も雇ってくれないのです」というブドウ園の労働者の人の声は、同時にこの時代を生きる悲痛な叫びと重なり合っていないでしょうか。

13節では、1デナリオンの「約束」と記されてあります。「約束」という言葉は、原文にはありません。直訳すると、「主人は、一日につき1デナリオンで、労働者をブドウ園に送ることを承認した」。「承認した」という動詞には「シンフォニー」という意味が込められています。「シンフォニー」とは、オーケストラで演奏される大規模な楽曲を思い出しますね。オーケストラは、様々な楽器が音を奏でて、それぞれの音が調和をもって一つの曲として成り立っています。それが、美しいハーモニーとなって、私たちの心を揺り動かします。どの楽器もその楽器に応じた美しい旋律が奏でられています。「共に響きあう美しい調和」が確かに、一つの作品として存在しています。このことを、「約束」だと言っています。神様のもとでは、それぞれの人たちが「共に響きあう美しい調和」がある。マタイは、それを「天の国」と表現しているのです。神様は、どの人にも、それぞれ1デナリオンずつ渡したいのです。それが、神様の目から見て善であり、美しいことであると聖書は記しているのです。私たちも、「共に響きあう美しい調和」である「天に国」の建設のために、神様から呼びかけられているのではないのでしょうか。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025年2月9日 労伝デイ講壇交換礼拝

礼拝出席 大人6名 献金 大人5,200円 中継視聴者数15回 感謝

釜ヶ崎で支援活動を行っている「関西労働者伝道委員会」の働きを覚える関西労伝デイの講壇交換礼拝として、いずみ教会（和泉市伯太町）の永富美加牧師とさんが来ていただきました。どうもありがとうございました。

◎次週 2025年2月23日（日）降誕節第9主日礼拝

招きの詞 詩編 103編 16-17節

聖書 コリントの信徒への手紙Ⅱ 12章 1-10節

メッセージ 「力は弱っている時にこそ発揮される」牛田匡牧師

賛美歌 21-484番、21-536番、21-451番（◎いずれも教団讃美歌委員会）

◎お知らせ

- これまでの「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- 2月22日（土）14時～16時にかけて、大阪クリスチャンセンター（玉造）にて、大阪教区核問題特別委員会主催の公開講演会「手に負えない原発 それでも動かしませんか？」が開催されます。講師は樋口英明さん（元福井地裁裁判長）です。オンライン配信はありません。参加無料ですので、どなたでもご参加ください。
- 2月23日（日）14時半～16時半にかけて、枚岡教会にて、河内地区有志教会壮年会が開催されます。枚岡教会の浅見覚牧師による礼拝の後、「LINEのセキュリティー対策」に関するお話がある他、浅見牧師を囲んでの歓談の時を持つ予定です。参加費は無料です。青年や女性も歓迎いたします。どなたでもご参加ください。
- 2月24日（月）13時～16時にかけて高石教会（高石市・南海伽羅橋駅）にて、大阪教区「2024年度宣教セミナー」が開催されます。テーマは「地区活動について考える」です。大阪教区には大阪中部地区・大阪西部地区・大阪南地区・北摂地区・豊能地区・河北地区・河内地区・河南地区・南海地区・奈良地区・和歌山地区の11地区がありますが、それぞれの地区でどのような活動や取り組みが行われているかについては、あまり知られていません。今回は3人の方々からの発題をもとに、地区活動について一緒に考えられたらと思います。参加費は無料。往復1500円を越える分についての交通費補助もあります。どなたでもご参加ください。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
2/23	牛田匡牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援 河内地区有志教会壮年会 14時半～16時半（@枚岡教会）
3/2	牛田匡牧師	ユウカリスト・教会を考える会
3/9	水谷憲牧師	
3/16	牛田匡牧師	おにぎり支援

宣教セミナー

大阪教区 2024年度

テーマ：「地区活動について考える」

主催：日本基督教団大阪教区宣教部委員会

日時：2025年2月24日（月・休）13:00～16:00

場所：高石教会（高石市高師浜1-4-3）※公共交通機関をご利用ください

開催方法：対面・オンライン ◆申込締切：2/12（水）

【タイムテーブル】

12:30 受付開始
13:00 開会（賛美・聖書朗読・祈禱・挨拶）
13:10 発題 ①奈良地区から 藤川麗人さん（奈良高畑教会・地区委員長）
②和歌山地区と和歌山連合長老会の報告 阿部倫太郎さん（東和歌山教会）
③教区の歴史的観点から 有澤慎一さん（池田五月山教会・元大阪教区副委員長）

14:10～質疑応答 14:40～参加者紹介・Zoom終了・休憩 15:00～分団・交わり
15:45～分かち合い 16:00 解散

大阪教区では「地区」が教区規則に位置づけられていないため、総合資料にも報告が掲載されず、どのような活動がなされているのかを共有できません。歴史的経緯もあると思いますが、今日の宣教の困難を鑑み、今後どのような協力共助が可能なか必要なことを共に考え、創造するきっかけになればと願っています。

オンライン申込フォーム
こちらのQRコード下記メールアドレスよりお申し込みください。
お問い合わせ askan@gmail.com
申込方法がわからない方は、大阪教区事務局（06-6761-8562）までお問い合わせください。

※参加無料！交通費補助あり！（往復1500円を超える分）


